

学校概要

神川小学校は、神川、千曲川の大きな川の合流点近くに位置し、自然豊かな環境に囲まれている。また近くには、しなの鉄道や国道18号線が通り、交通の便もよい。

学区内には歴史的な文化財の国分寺史跡公園や国分寺があり毎年多くの観光客が訪れ、正月の八日堂縁日には国分寺を多くの人が参拝する。

明治30年(1897年)現在の地に神川尋常小学校を2階建てで新築。大正7年山本鼎先生が「児童自由画の奨励」という演題で講演。併せて農民美術講習会を開講し、農民美術発祥の地としての地位を確立する。

山本鼎先生の「自分が直接感じたものが尊い。そこから種々の仕事が生れてくるものでなければならぬ」(原文のまま)という教えは、今も神川小学校の学校訓として位置づいている。

平成9年(1997年)には、開校100周年式典が行われた。校内には、山本鼎先生の教えを受けた子どもの作品を中心として展示されている「鼎の部屋」がある。

平成29年(2017年)には、開校120周年記念式典が行われ、山本鼎先生についての講演会をもった。

平成31年(2019年)は、農民美術運動が始まって100年目の節目の年となる。

学校教育目標「考える子心の美しい子たくましい子」の具現化に向けて保護者、地域の方々と連携しながら教育活動に取り組んでいる。



山本鼎先生の石碑



石碑に刻まれた学校訓



職員玄関



校庭から見た第1校舎





校庭の桜の花



中庭から見た第2校舎



開校120周年記念でリニューアルされた校名板

書；宮沢 孝 様
彫；尾澤 敏晴 様



遠くに北陸新幹線の吊り橋を望む